

“漢字で学習する”ことの価値は何か。

百万年前の猿と、現在の猿との間には、ほとんど進歩といえるほどのものは何も無いのに、人間は日進月歩しています。その理由は、猿は言葉をもたず、人間だけが言葉をもっているからだと考えられています。

人間は、言葉によって、経験を他に伝えることができ、知恵を蓄積することができて、初めて進歩することができるようになったわけです。

しかし、すぐに消えてしまい、向かい合っている人としか通じない“言葉”を、消えることなく、どんな遠い所にも伝えることができるようにしたのが“文字”です。

人間は、文字を発明し、これを使いこなすことによって、一段と飛躍を遂げることができるようになりました。今では、過去の、どんな偉人、どんな学者とも対話することができます。

その文字の中で、現在、最も価値のある文字は漢字です。漢字だけが、複雑な思想を明確に表現できる文字なのです。だから、言葉を、かなで学ぶのと、“漢字で学ぶ”のとでは、大変な違いがあるのです。

私は、六年生の教科書で、「こう水」という表記の字を見ましたが、とっ

さには、その意味がわかりませんでした。それは「洪水」のことでしたが、「こう水」という表記の言葉には、そのほかに「鉱水」「硬水」「香水」などの言葉があります。

これでは、言葉の区別がつきません。区別がつかないだけならまだよろしい。これらの言葉を理解することが困難です。「こう水」という表記の字には、二通りの読み方と、四通りの意味があることを、どのようにして理解し、それをどのようにして記憶し保持するのでしょうか。

「洪水」「鉱水」「硬水」「香水」という漢字で学習すれば、それぞれの意味を正しく理解し、それを記憶し、保持することも容易にできます。

また、文章を読む場合にも、かな書きの文では、正しく理解しがたく、理解するためには漢字の場合の何倍もの時間をかけなければなりません。